

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 25 26 27 46 54	日常的に混乱がある方への対応、環境作りが難しい。 夜、眠たそうにされているのに眠れていないことから、見当識の感覚が薄れていることも考えられ、日中の混乱への悪循環につながっている。	安心して、夜間、睡眠がとれる。	入床し、寝ようとしていない原因を追究し、要因として出た意見から解決策を話し合い、実践する。その結果をスタッフ全員が共有することで、日常的な夜間安眠に繋げ、混乱の軽減と、日中の生活の充実を図る。	12 ヶ月
2	23 25 37 48	自らの希望の表出が少ない利用者への、思いの汲み取りや、意欲を引き出す対応が難しい。	一人で過ごす環境も大切にしながら、フロアでも過ごしやすい環境を作り、沢山会話をすることで、意見が表出しやすい関係性を作る。	趣味やおやつなど、本人が興味を示されやすく、沢山会話ができる環境を作る。 外に出て行動範囲を広げたり、室内でも活動内容を増やすことで、本人の表情や反応から、好きなもの、好きなことを見つけていく。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。